

報道関係者各位
2012年6月19日

マニユライフ・ファイナンシャル 125 周年記念
ロンドンパラリンピックで金メダルを目指す車いすマラソン トップアスリート
副島正純選手・土田和歌子選手とのスポンサー契約記念セレモニー
ボストンマラソン報告およびパラリンピック壮行会を開催

マニユライフ生命保険株式会社(代表執行役社長兼 CEO:クレイグ・ブロムリー、以下マニユライフ生命)は、マニユライフ・ファイナンシャル125周年を記念して、車いすマラソンのトップアスリートとして活躍する副島正純選手、土田和歌子選手とのスポンサー契約記念セレモニー、ボストンマラソン報告会およびパラリンピック壮行会を2012年6月13日にマニユライフ生命本社にて開催いたしました。

マニユライフ生命と副島選手、土田選手の繋がりは、マニユライフ生命と同じグループ企業であるジョン・ハンコックがメインスポンサーを務めるボストンマラソンで両選手が優秀な成績を収め続け、ついには、2011年度のボストンマラソンで、男女アベック優勝を成し遂げるに至り、日本において、その祝勝会をマニユライフ生命が開催したことに始まります。

副島選手、土田選手はマニユライフ生命とのスポンサー契約について下記のように述べています。

「マニユライフ生命様から、サポートのお話を頂き感激しました。競技を通し沢山の人の人に出会い、様々な言葉や刺激をいただきます。今回のお話は、アスリートとしての存在価値を最高に評価していただいたものだと感じています。競技結果はもとより、活動を通し「伝える」ことで、マニユライフ生命様と共に、誰かのためになる存在を目指して頑張っていきます。」(副島選手)

「この度、マニユライフ生命保険株式会社様がスポンサーとして私の競技活動を支援していただけることになり大変光栄に思います。今後はボストンマラソンは勿論、国内外のレースで更に活躍できるよう精進し、この競技を通じて少しでも多くの方に勇気を与えられるような走りをしていきたいと思っております。」(土田選手)

また、両選手とのスポンサー契約について、マニユライフ生命 クレイグ・ブロムリー社長兼 CEO は次のように述べています。

「私たちマニユライフ・グループは、2012年6月に創業125周年を迎えます。マニユライフ生命は、その長きに渡りマニユライフ・グループに受け継がれている社会貢献の理念を掲げ、厚いご信頼をいただけるプロフェッショナルな生命保険会社として、より良い社会作りに貢献してまいります。

今回、副島選手、土田選手がトップアスリートになるまで地道なご努力を重ねるとともに、常に挑戦し、成功し続けている姿にマニユライフ生命としても強い共感を得るところであり、更に充実した競技人生がおくれるようにマニユライフ生命がお力になることが出来ればと思ひ、スポンサーとしてサポートさせて頂くことになりました。

そして、お二方の人生・競技に真摯に取り組んでいる姿を少しでもより良い社会作りに役立てるように紹介していければと考えております。」

副島選手、土田選手は、今後調整を行いながら、8月末から開催されるロンドンパラリンピックでの金メダル獲得を目指します。マニユライフ生命は両選手の競技生活に関して支援を行ってまいります。



(左)副島選手、(右)土田選手、
(中) マニュアル生命 クレイグ・プロムリー



マニュアル生命社員と副島選手・土田選手
(マニュアル生命本社にて)

■副島正純(そえじま まさずみ)

1970 年生まれ。長崎県出身。現在、福岡県福岡市に在住。車いすマラソン世界最速を狙うアスリート。毎年 5 大メジャーマラソン大会を中心に数多くのマラソン大会に出場し好成績を収めている。世界トップレベルの車いすアスリートとして活躍中。23 歳の時、家業である鉄工所を手伝い中、鉄板落下の事故により脊髄を損傷し車いすの生活となる。入院中に車いすマラソンに出会い、走ることの楽しさに魅了され競技に没頭していく。2004 年にはアテネパラリンピック リレーにて銅メダルを獲得。2005 年、ホノルルマラソンでは、初出場ながらも大会新記録で初優勝。ホノルルマラソンは現在まで 6 連覇中。2007 年のボストンマラソン、ベルリンマラソンでは日本人選手初となる優勝を飾り、同年の世界陸上選手権大阪大会車いす 1500m では銀メダルを獲得。名実ともに世界トップレベルのアスリートとして世界各国のレースに出場。2011 年 4 月にはボストンマラソンで 2 度目の優勝。非公認ながらも自己最速記録となる 1 時間 18 分 50 秒をマーク。公認記録としては自己の持つ日本記録が 1 時間 21 分 23 秒。世界記録 1 時間 20 分 14 秒まで、あと 1 分あまりに迫っている。世界記録に一番近い男として、世界記録を、そしてロンドンパラリンピックマラソンでは金メダルを狙う。

■土田 和歌子(つちだ わかこ)

1973 年生まれ。東京都出身。現在、東京都多摩市に在住。高校 2 年時、ドライブ中に事故に遭い、車いす生活に。93 年アイススレッジの講習会に参加したことがきっかけで、日本で最初にアイススレッジスピードレースを始める。94 年リレハンメル冬季パラリンピックでは入賞、98 年長野冬季パラリンピックでは 1500m で自己の世界記録を更新し金メダルを獲得！99 年からは陸上競技に転向し、00 年シドニー夏季オリンピック公開競技として行われた車いす 800m レースに日本人選手として初出場、銀メダルを獲得。同年シドニー夏季パラリンピック車いすマラソンで、銅メダルを獲得。00 年 12 月東京都教育庁を退職。プロアスリートとして活動を開始。04 アテネ夏季パラリンピックでは 5000m で金メダル、マラソンで銀メダルを獲得！日本人初の夏・冬での金メダリストとなった。その後 05 年に結婚、06 年には出産を経て一時競技から離れるが、07 年 4 月の復帰戦となった第 111 回ボストンマラソンで、日本人で初めてとなる優勝を果たした。08 年北京夏季パラリンピックでは、5000m 決勝レース中の接触事故に巻き込まれ負傷し途中棄権、その怪我の影響で、出場を予定していたマラソン種目も断念し帰国。怪我の治療の為 2 ヶ月に及ぶ入院生活の中で現役続行を決意し、競技へ復帰。今年の第 115 回ボストンマラソンではコースレコードを樹立し大会 5 連覇を達成した。2012 年ロンドンパラリンピックでリベンジを目指す！

■マニュアルについて

マニュアル生命保険株式会社(「マニュアル生命」)は、マニュアル・ファイナンシャル社のグループ企業です。マニュアル・ファイナンシャルは、主にアジア、カナダ、米国を中心に事業を展開しているカナダ系大手金融サービス・グループです。マニュアルは信頼に支えられ、その信頼に真摯に応える企業として、また力強さに満ち、明日を切り拓く企業として、人生で最も重要な資金面の決断を行う際の解決策を、お客さまにお届けすることを目指して、2012 年で創業 125 周年を迎えました。同社職員、エージェントおよび販売パートナーの国際的なネットワークを通じて、世界各地の数百万のお客さまに経済的保障や資産運用・形成のための商品・サービスをご提供しています。また、世界各地の機関投資家のお客さまには、資産運用サービスもご提供しています。マニュアル・ファイナンシャルとその子会社の管理運用資産は、2012 年 3 月 31 日現在 5,120 億カナダドル(5,120 億米ドル)となっています。カナダおよびアジア地域ではマニュアル・ファイナンシャル(マニュアル)として、米国においては主にジョーン・ハンコックのブランドで事業を展開しています。マニュアル・ファイナンシャルは、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。マニュアル・ファイナンシャルについての詳細はウェブサイト(www.manulife.com)をご覧ください。マニュアル生命のウェブサイトは次の通りです。(www.manulife.co.jp)